

## 楽しく豊かな学校生活を目指して

副校長 永島 裕美

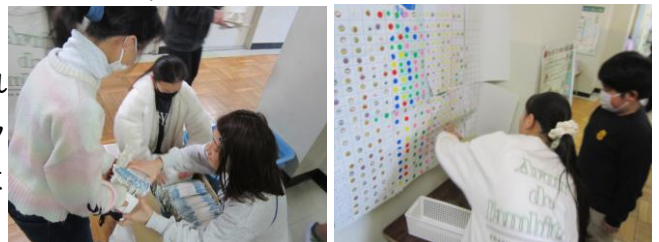
学校周りの桜の花芽がつばみになり、春に向かって花を咲かせる準備を着々と進めています。学校の様々な活動においては、これまでの活動の成果が表れ、一足先に花を咲かせている場面が多く見られるようになってきました。その中で、二つの委員会活動の取組を紹介します。

5・6年生の児童が行う委員会活動の目的は、楽しく豊かな学校生活をつくることです。学校生活の充実と向上を図るために見出した課題を解決するために話し合い、様々な取組を分担して行っています。児童による自発的、自治的な活動を特質とする教育活動です。

運営委員会では、「児童会スローガンの『たいやき』を広めたい」という児童の思いから、スローガンに沿った行動をしていた人のことをカードに書いてもらって募り、全校で紹介する活動をしています。「たいやきボックス」に投函してもらったカードの中から毎週3枚選び、運営委員がラジオパーソナリティのように放送で紹介しています。「自分もあの人のことを多くの人に知ってもらいたい。」という思いが高まるようで、紹介しきれないほど次々とカードが投函されています。集まったカードは職員室前の壁に貼ってくれているので、私も読ませてもらっています。すてきな言葉に満ち溢れていて温かい気持ちになります。子どもたちも足を止めて読んでいます。



給食委員会では、毎週末、各クラスが持ち寄る牛乳パックを、リサイクル業者に送る専用の段ボール箱に隙間なく詰める仕事をしています。箱にきっちり詰めるには一枚一枚の牛乳パックがきれいに開かれていないといけません。そのため、給食委員が開き直したり、向きを整えて重ね直したりして箱に詰めていました。作業に多くの時間を費やさなければならず、昼休みの時間が無くなってしまうこともありました。この問題を解決したいと思った給食委員は、話し合い、「牛乳パックみんなそろえてリサイクル」の活動を始めました。クラスで集めた牛乳パックがきれいに重なっていたら、表のクラスの欄にシールを貼り、そのシールが5枚集まったら賞状を渡すというものです。自分のクラスの欄にシールが貼られ賞状をもらえるのは嬉しいものです。どのクラスも牛乳パックをきれいに整えて持ってくるようになり、給食委員もみんなものにこにこです。



子どもの思いから活動が生まれ、学校生活が楽しく豊かになる実感を得ることは、将来、地域社会の自治的な活動の中で生きるものだと思います。すてきな花を咲かせることができるよう、今後も応援していきます！